早期認知機能低下が将来の要介護状態発生に与えるリスクに関する
フレイル健診受診者を対象とする研究へのデータ提供について

神戸市は、WHO神戸センター、神戸大学及び先端医療振興財団が共同で実施する認知症に関する疫学研究に協力しています。
この研究は神戸市の保健事業の中で実施した「フレイル健診（以下、フレイルチェックとします。）」の記入情報・測定結果、認知機能関連・健康関連アンケート結果と2年後の要介護・要支援認定等の介護保険関連情報を統合し、解析を行う疫学研究です。
すでに、神戸市が保有している情報を利用させていただく研究ですので、対象となられた市民の皆様に、あらためて何かをお尋ねすることはありません。また、対象となられた皆様の個人情報を個別に検討することはなく、対象となる市民のデータを集団として分析します。
この研究は、神戸大学が設置する倫理審査委員会で、文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく承認を得て実施するものです。

１．研究の目的

本研究は、フレイルチェックに参加した市民を対象として、現時点の認知機能に関連する日常生活自立度（ADL）と健康に関する生活の質（QOL）を評価し、それらのスコアやフレイルチェックの回答内容が将来の要介護認定の発生にどのように関連するのかを探索的に評価することを目的としています。

２．研究の対象

以下の選択規準をすべて満たし、かつ除外規準のいずれにも該当しない方が対象。

１）選択規準：

① 年齢が64歳または65歳である市民

② 2017年度または2018年度にフレイルチェックを受けた市民

２）除外規準：フレイルチェック時に既に要介護認定を受けていた市民

３．研究方法

研究対象者のフレイルチェックの記入事項・測定結果、認知機能関連ADLと健康関連QOLの記入事項と2年後の要介護認定を神戸市役所内で連結し、個人情報を完全に削除した上で、これらのデータを研究責任者に提供します。研究責任者の側では、フレイルチェック時の状況が要介護認定の発生にどのように関連するかを分析します。

４．研究に用いる試料、情報の種類

研究に用いる情報は、フレイルチェックで得られる以下の既存情報に限られます。

個人の属性情報（性別、生年月日等）、フレイルチェックの記入事項・測定結果、認知機能関連ADL、健康関連QOLの記入事項、要介護認定の情報（既存情報）である要介護認定の有無、要介護度、障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度に関する情報です。

５．外部への試料、情報の提供

データベース作成及びデータ提供は、研究関係者以外はアクセスできない状態で行います。個人情報を完全に削除した後、電子媒体で研究機関に提供します。

６．研究組織

研究責任者：神戸大学大学院医学研究科病態情報学分野准教授山本泰司

７．研究期間　2016年8月15日から2022年3月31日まで

８．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、情報が該当研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも神戸市保健事業に関する不利益が生じることはありません。

連絡先：

研究の内容に関すること

〒650-0017神戸市中央区楠町7-5-1
神戸大学大学院医学研究科病態情報学分野
電話078-803-5243

研究の手続に関すること

〒650-0017神戸市中央区楠町7-5-2
神戸大学医学部附属病院臨床研究推進センター
認知症の社会的負担を軽減するための神戸プロジェクト事務局
電話078-382-6742

フレイルチェックに関すること、情報提供拒否に関すること

〒650-8570神戸市中央区加納町6丁目5番1号
神戸市福祉局国保年金医療課管理係
電話078-322-0217